

# 日韓における自尊心・競争心・見栄の度合いによる親の子供に対する教育熱の度合い

朝緑明子・井本拓希・宋熹允・山下裕一朗

## 要約

日本では昨今、熾烈な大学受験戦争が起きている。しかし、その戦争から合格を勝ち取り、有名大学に入ると同時に、燃え尽き症候群、もしくは向上心のない人になってしまうケースが多く見られる。つまり、現在起きている大学受験戦争は、本質的学習とは無関係の、学歴を得るためだけのものになってしまっている可能性がある。また、日本では近年学力低下も懸念されているため、学習の質の向上は重要な問題である。そこで、親の子供に対する本質的学習に対する教育熱を向上させるために、まずは、その教育熱が何に起因しているのかを調査した。研究方法としては、教育熱に関連していると考えられる「自尊心、見栄、競争心」の3つの要素を定め、[韓国人15人と日本人58人から](#)アンケートを回収し、回帰分析を行う手法を用いた。回帰分析の結果、日韓において自尊心が強い人ほど、見栄を張る人ほど、競争心が強い人ほど、教育熱が高いということが分かった。

## 目次

1	序文 .....	3
2	方法 .....	3
2.1	質問項目 .....	3
2.2	回帰分析 .....	4
3	結果および考察 .....	5
3.1	結果 .....	5
3.2	考察 .....	8
4	おわりに .....	9
5	付録 .....	10
6	引用文献 .....	16

## 1 序文

日本では昨今、熾烈な受験戦争が行われている。多くの受験生は人生の岐路に立たされているかのように、学習塾に通いながら、少なくない時間を勉強に割り当てている。それでも、有名大学の高い入試倍率から示されるように、志望していた学校に合格する人より合格できない人の方が多い。

しかし、熾烈な受験戦争から志望学校の合格を勝ち取った人々でも、その多くは大学に入ると同時に、燃え尽き症候群となり、受験期の向上心を失う。つまり、現在、起きている受験戦争とは、より質の高い大学で質の高い教育を受けようとする本質的な学習のためではないことがわかる。そして、この受験戦争はおそらく、よる有利な条件下で就職活動をするためであると推測できるだろう。この事実から、日本の大学生の学習的な面における質の低下が懸念される。そこで、この低下を防ぐ方法を見つけるために今回、私たちは親の子供に対する教育熱は、何に起因しているのかについて調査を行うことにした。

そして、親の教育消費行動から考えられる自尊心、競争心、見栄の度合いの3つの世界観が教育熱に影響しているという仮説を立てた。3つの要素に関しては以下のように定義する。

- 教育熱とは、今回は親が子どもに対する主に勉学分野における教育の熱心さのことを指す。
- 自尊心とは、誰かと比較するのではなく、自分自身の中で自分を絶対的に評価ができる態度を指す。
- 競争心とは、自尊心とは対照的に、自分自身を周りと比べて相対的に評価ができる態度を指す。
- 見栄とは、真の実力以上の自分を周りに見せようとする態度のことを指す。

また、今回は日本以上に受験戦争が激化している韓国でもアンケートを取ることで、日本と韓国では、仮説に関してどのような整合性の違いが得られるのか、また、その整合性の違いと受験戦争の実態からどのようなことがわかるのかについても調査を行った。

## 2 方法

今回の実験では、アンケートによって日韓のサンプルを収集した。そして、被説明変数には教育熱を測る質問から得られた数値を、説明変数には、自尊心、競争心、教育熱を測る質問から得られた数値を取り入れ、4段階に回帰分析を行い、仮説との整合性を検証するという方法を採用した。

### 2.1 質問項目

まず、被説明変数である教育熱に関しては、4つの質問を用意した。一つ目は、エンゲル係数を用いて食費から割り出した所得や所得に対する親が大学受験を

控えた高校3年生の子供にかかるべき教育費の割合から、親が大学受験を控えた高校3年生の子供にかかるべき教育費を算出した。また、大学受験を控えた高校3年生が1週間にすべき勉強時間、大学受験が重要かどうか、子供に知識を教えることが重要かどうか、という質問でも教育熱を測った。この際、日韓において学校による学習時間に差があることを考慮し、学校が休暇中であるという条件を加えた。説明変数に関しては、基本的に1（とてもそう思う）から5（全くそう思わない）までの番号で答えてもらった。自尊心に関しては、あなたが思いつく自分の長所をできるだけ沢山書いて下さい、自分を誇りに思う、という2つのオリジナル質問に加え、内田(2010)の自尊心を測る質問10個を引用した(引用文献6.1参照)。競争心に関しては、他人に負けることを悔しく思う、ライバルがいるとモチベーションが上がる、何事も1番になることが重要だ、という3つの質問を使用した。見栄に関しては、友人の社会的地位は重要だ、地位の高い人物と一緒にいるのを見られることは重要である、自分の子供が知名度の高い企業に就職することは重要だ、という3つの質問を用意した。本論文の最後に

## 2.2 回帰分析

回帰分析においては被説明変数の  $y$  に教育熱を測る質問を、説明変数の  $x$  には、自尊心、競争心、教育熱を測る質問をそれぞれを取り入れ、以下のようなステップ順にモデル選択を進めた。D は日本を0、韓国を1とするダミー変数である。

- step1 :  $Y = a + bD$
- step2 :  $Y = a + bx + cD + dxD$
- step3 :  $Y = a + bx + cD$
- step4 :  $Y = a + bx$

次に、各ステップをどのような意図で行ったのかについて説明する。

ステップ1では日韓の平均の差(b)が有意であるかを確認する。

ステップ2では、日韓の傾きの違い(d)と切片の違い(c)を検定した。dの値が有意である場合は、このモデルを選択し、有意でなければステップ3に進む。

ステップ3では、ステップ2のdの値が有意でなかった場合、すなわち日韓の傾きの違いが有意ではなかった場合、日韓の切片の違いを検定するために行った。この時、ステップ1でのbの値が有意でなく、かつステップ3のcの値も有意でなかった場合、日韓のxの違い、つまり自尊心、もしくは競争心、もしくは見栄の値の違いが日韓の経済行動、すなわち教育熱の差を説明していると考えられ、ステップ4に進む。

ステップ4では、説明変数だけが被説明変数を説明しているかについて検定した。これが有意であった場合は、説明変数だけが被説明変数を説明しているといえる。

以上の4ステップで回帰分析を行い、説明変数19個と被説明変数4個の計76パターンについて、モデル選択を行った。

### 3 結果および考察

アンケートの結果、73人から回答が得られ、そのうち韓国人15人、日本人58人という結果となった。以下はそれぞれを用いた回帰分析の結果の中で、Step2ではb、dが、Step3ではa、b、cが10%で有意であると示された回帰分析の結果及びそれに関する考察である。表の\*は有意水準10%、\*\*は有意水準5%、\*\*\*は有意水準1%を示している。

#### 3.1 結果

##### 3.1.1 自尊心

表1 問21と問8のStep2の結果

説明変数：自分に対して肯定的だ。(問21)

被説明変数：大学受験は人生の中でも重要だと思う。(問8)

	係数	有意水準
切片	2.416413	8.29E-08***
日本の傾き	0.278116	0.011844**
韓国との切片の差	-3.36834	0.022862**
韓国との傾きの差	0.808423	0.025399**

日本では自分に対して肯定的な人ほど、大学受験を重要であると考え、韓国では日本以上に自分に対して肯定的な人ほど大学受験を重要であると考えている。

表2 問6と問5のStep2の結果

説明変数：長所の数(問6)

被説明変数：一周間に高3の大学受験を控えた子供はどれくらい勉強すべきか。(問5)

	係数	有意水準
切片	1.464206	0.003136***
日本の傾き	0.036	0.001066***
韓国との切片の差	0.943446	0.309407
韓国との傾きの差	-0.03401	0.018249**

韓国では自分の長所を多く言える人ほど、多くの時間を勉強に投資すべきだと考えている。日本では韓国以上に自分の長所を多く言える人ほど、多くの時間を勉強に投資すべきだと考えている。

表3 問23と問5のStep2の結果

説明変数：もっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う。(問23)

被説明変数：一周間に高3の大学受験を控えた子供はどれくらい勉強すべきか。(問5)

	係数	有意水準
切片	2.928836	5.12E-18***
日本の傾き	-0.02146	0.000225***
韓国との切片の差	-1.15598	0.008588***
韓国との傾きの差	0.020811	0.005027***

韓国ではもっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う人ほど高3の受験生は多くの時間を勉強に投資すべきだと考えている。日本では自分自身を尊敬できるようになりたいと思う人ほど高3の受験生は勉強に投資すべき時間は短くても良いと考えている。

表4 自尊心まとめ(問14-23)と問5のStep3の結果

説明変数：自尊心まとめ

被説明変数：大学受験は人生の中でも重要だと思う。(問8)

	係数	有意水準
日本の切片	2.80723	1.34E-16***
日韓の傾き	0.118657	0.089617*
韓国との切片の差	0.296898	0.096213*

日韓において自尊心が強いほど、大学受験は人生の中で重要であると考えている。

### 3.1.2 見栄

表5 問7と問8のStep2の結果

説明変数：友人の社会的地位は重要である。(問7)

被説明変数：大学受験は人生の中でも重要だと思う。(問8)

	係数	有意水準
切片	0.885005	0.051926*
日本の傾き	0.431104	0.000577***
韓国との切片の差	3.288072	0.044499**
韓国との傾きの差	-0.71957	0.071298*

日本では友人の社会的地位が重要であると考えている人ほど、大学受験は重要だと考えて

いるが、韓国では友人の社会的地位が重要であると考えている人ほど、大学受験が重要であると考えない傾向がある。

表 5 問 14 と問 8 の Step3 の結果

説明変数：自分の子供が知名度の高い企業に就職することは重要である。（問 14）

被説明変数：大学受験は人生の中でも重要だと思う。（問 8）

	係数	有意水準
日本の切片	2.212039	4.7E-08***
日韓の傾き	0.238951	0.015178**
韓国との切片の差	0.549562	0.028169**

日韓において自分の子供が知名度の高い企業に就職することが重要であると思う人ほど、大学受験を重視であると考えている。

表 6 問 14 と問 12 の Step3 の結果

説明変数：自分の子供が知名度の高い企業に就職することは重要である。（問 14）

被説明変数：知識を子供に教えることは重要だと思う。（問 12）

	係数	有意水準
日本の切片	1.786251	0.002622***
日韓の傾き	0.289484	0.025448**
韓国との切片の差	0.692651	0.005673***

日韓において自分の子供が知名度の高い企業に就職することが重要であると思う人ほど、知識を子供に教えることは重要であると考えている。

### 3.1.3 競争心

表 6 問 13 と問 5 の Step2 の結果

説明変数：ライバルがいることでモチベーションが上がる。（問 13）

被説明変数：一周間に高 3 の大学受験を控えた子供はどれくらい勉強するべきか。（問 5）

	係数	有意水準
切片	3.626161	2.3E-18***
日本の傾き	0.011793	0.082658*
韓国との切片の差	0.805224	0.125779
韓国との傾きの差	-0.01559	0.078579*

韓国ではライバルがいるとモチベーションが上がると答えた人ほど高3の受験生は多くの時間を勉強に投資すべきだと考え、日本では韓国よりライバルがいるとモチベーションが上がると答えた人ほど高3の受験生は多くの時間を勉強に投資すべきだと考えている。

## 3.2 考察

### 3.2.1 自尊心

自尊心においては Step2 の問 21 と問 8、問 6 と問 5、問 23 と問 5、Step3 自尊心まとめと問 5 で有意な結果が得られた。問 23 と問 5 では日本の傾きが負、韓国の傾きが正で違うが、以外の項目ではには日韓の傾きが正と同じである。前者と後者の日本の結果で矛盾があるように考えられるが、これは自尊心の度合いを測る問 23 の質問「もっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う」で現状の自分に満足していない人が「とてもそう思う」と答えていると考えるならば、自尊心が高い人ほど、高3の受験生は多くの時間を勉強に投資すべきだと考えていると解釈できる。

### 3.2.2 見栄

見栄においては Step2 の問 7 と問 8、Step3 の問 14 と問 8、問 14 と問 12 で有意な結果が得られた。問 7 と問 8 では日本の傾きが正、韓国の傾きが負で違うが、以外の項目では日韓の傾きが正と同じである。その中で、被説明変数の問 8 に関する 2 つの結果が違うことに矛盾があるように考えられる。しかし、Step3 の問 14 と問 8、問 14 と問 12 の回帰分析結果では日韓の傾きが 5% で有意であることから、日韓の傾きの差が 10% で有意である Step2 の問 7 と問 8 の回帰分析結果は信頼し難いと解釈できる。

### 3.2.3 競争心

競争心においては Step2 の問 13 と問 5 で有意な結果が得られた。

### 3.2.4 世界観の影響が 0 である時の教育熱

世界観の影響が 0 の時の教育熱においては Step2 の問 21 と問 8、問 6 と問 5、問 23 と問 5、問 7 と問 8、問 13 と問 5 で韓国より日本の教育熱が高いという結果が得られた。これは韓国では政府が 10 年以上受験競争の過熱を抑えるために規制を設ける、もしくは強化するなど、様々な政策を行う反面、日本ではまだまだ受



験戦争が過熱しているしていることが原因であると考えられる。

#### 4 おわりに

今回の研究では、以上の結果から自尊心が強い人ほど、見栄を張る人ほど、そして競争心が強い人ほど教育熱が高いという結果が導き出された。また、世界観が影響されない時の教育熱の度合いは韓国より日本が高いことがわかった。

しかし、自尊心の質問 23 において前提条件がはっきりしていなかったことや競争心の有意な結果を得られたケースが少ないこと、そして、切片の違いに関する原因などについては改善の余地があると考えられるため、引き続き研究していきたい。

## アンケート協力をお願い

慶應義塾大学 経済学部 大垣昌夫研究会

アンケートにご協力頂きありがとうございます。

当アンケートで得た個人情報について、紛失・漏洩が発生しないように管理責任者を定め、個人情報取り扱い規定を整備し、これらの危険に対する安全対策を積極的に実施いたします。

当アンケートによって得た個人情報は、ご本人の同意がない限り第三者には提供いたしません。

当アンケートによって得た個人情報は、法律に基づいた、警察等の行政機関や司法機関からの要請があった場合を除き、第三者には提供いたしません。

[以下のアンケートにお答えください。また線分で答える質問では以下のように印をつけて下さい]

---

1. あなたはお子さんをお持ちですか？ はい・いいえ
2. 1番ではいと答えた方。一番年長のお子さんは何歳ですか？ A. \_\_\_\_\_ 歳

=一番年長のお子さんの年齢が 17 歳未満の方は問 3 ～ 17 歳以上の方は問 4 へ=

3. お子さんが 17 歳（高 3）になった時、そのお子さんにかかるべきだと思える教育費は、所得に対してどの程度の割合ですか？



また、お子さんが 17 歳（高 3）になった時のあなたの家庭でのひと月の食費は、 外食なども含めると、月収に対してどのくらいの割合になりそうですか？



問3を回答した方は、問5へお進みください。

4. お子さんが17歳（高3）だった時、そのお子さんにかけた教育費は、所得に対してどの程度の割合でしたか？



また、お子さんが17歳（高3）だった時のあなたの家庭でのひと月の食費は、外食なども含めると、月収に対してどのくらいの割合でしたか？



問4を回答した方は、問5へお進みください。

5. 高3の大学受験を控えた子供は一週間に何時間程度勉強すべきだと思いますか？  
但し、学校は長期休暇中であるとして考えて下さい。

A. \_\_\_\_\_ 時間

6. あなたが思いつく自分の長所をできるだけ沢山書いてください。

A. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\*以下の質問には、1～5 で回答してください。

また、直観でどんどん答えて頂いて結構です。

- 1 : とてもそう思う            2 : そう思う            3 : どちらとも言えない  
4 : そう思わない            5 : 全くそう思わない

7. あなたの友人の社会的地位は重要である A. \_\_\_\_\_
8. 大学受験は人生の中でも重要だと思う A. \_\_\_\_\_
9. 自分を誇りに思う A. \_\_\_\_\_
10. 他人に負けることを悔しく思う A. \_\_\_\_\_
11. 地位の高い人物と一緒にいるのを見られることは重要である A. \_\_\_\_\_
12. 知識を子供に教えることは重要だと思う A. \_\_\_\_\_
13. ライバルがいることでモチベーションが上がる A. \_\_\_\_\_
14. 自分の子供が知名度の高い企業に就職することは重要である A. \_\_\_\_\_
15. 何事も1番になることが重要だ A. \_\_\_\_\_
16. 少なくとも他の人とおなじぐらい自分は価値があると思う A. \_\_\_\_\_
17. 自分はいろんな良いものを持っている A. \_\_\_\_\_
18. 自分は負け組だと思うことがある A. \_\_\_\_\_
19. 自分を役に立たない無能だとよく思う A. \_\_\_\_\_
20. 自分は自信があまりない A. \_\_\_\_\_
21. 自分に対して肯定的だ A. \_\_\_\_\_
22. 自分に対して大体満足している A. \_\_\_\_\_
23. もっと自分自身を尊敬できるようになりたいと思う A. \_\_\_\_\_
24. 他の人と同じぐらいうまくやれる A. \_\_\_\_\_
25. 自分のことをだめ人間と思う時がある A. \_\_\_\_\_

親の価値観が子供に与える教育熱の度合いについての調査でした。

ご協力、ありがとうございました。

# 설문조사 협력 부탁(韓國語)

慶應義塾大学 経済学部 大垣昌夫研究会

설문조사에 협조해 주셔서 감사합니다.

본 설문조사에서 기입해주신 개인정보에 관해 분실·누설이 발생하지 않도록 관리책임자가 개인정보 취급규정을 정비하여, 이러한 위험에 대한 안전대책을 적극적으로 실시 할 예정입니다.

또한, 본 설문조사에서 기입해주신 개인정보는 법률에 기반하여, 경찰 등의 행정기관, 사법기관의 요청이 있을 경우를 제외하고, 귀하의 동의가 없이는 제 3 자에게 제공하지 않습니다.

[이하의 설문에 대답하여 주십시오. 선분을 이용한 질문은 이하의 샘플답안처럼 표시하여 주시기 바랍니다.]

1. 자녀분이 계십니까? 있다 · 없다

2. 1 번에서 있다라고 대답하신 분, 제일 큰 자녀분(만이)의 나이를 기입해주십시오

A. \_\_\_\_\_ 세

제일 큰 자녀분(만이)의 나이가 18 세 미만->설문 3 번, 18 세 이상->설문 4 번

3. 자녀분이 고 3 이 되었을 경우, 그 자녀분의 교육비는 소득의 어느 정도를 차지합니까?



자녀분이 고 3 이 되었을 경우, 귀하의 가정에서 한달 식비(외식 등을 포함)는 한달 소득의 어느 정도를 차지합니까?



설문 3 번에 대답하신 분은, 설문 5 번에 대답하여 주십시오.

4. 자녀분이 고 3 이였을 당시, 자녀분의 교육비는 소득의 어느 정도를 차지하였습니까?



자녀분이 고 3 이였을 당시, 귀하의 가정에서 한달 식비(외식 등을 포함)는 한달 소득의 어느 정도를 차지하였습니까?



설문 4 번에 대답하신 분은, 설문 5 번에 대답하여 주십시오.

5. 고 3 의 대학입시를 앞둔 자녀분은 1 주일에 몇 시간 공부해야 한다고 생각하십니까? 단, 학교는 장기 방학 중이라고 가정합니다. (학교에서의 보충수업 등도 없다고 가정)

A. \_\_\_\_\_ 시간

6. 귀하가 생각하는 귀하의 장점을 모두 적어 주십시오.

A. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\*이하의 질문에、1~5 로 대답하여 주십시오。  
 직관적으로 대답하여 주시기 바랍니다.

1 : 매우 그렇다      2 : 그렇다      3 : 어느 쪽이라고도 할 수 없다.  
 4 : 그렇지 않다      5 : 전혀 그렇지 않다

- 7. 자신의 친구가 어떠한 사회적 지위에 있는지 중요하다. A. \_\_\_\_\_
- 8. 대학에 가는 것은 인생에서 중요하다고 생각한다. A. \_\_\_\_\_
- 9. 나는 내가 자랑스럽다. A. \_\_\_\_\_
- 10. 지기 싫어하는 성격이다.  
 A. \_\_\_\_\_
- 11. 지위가 높은 인물과 함께 있는 것을 타인이 보는 것은 중요하다. A. \_\_\_\_\_
- 12. 지식을 자녀에게 가르치는 것은 중요하다. A. \_\_\_\_\_
- 13. 라이벌이 있는 것으로 동기가 부여된다 A. \_\_\_\_\_
- 14. 자녀가 지명도가 높은 기업에 취직하는 것은 중요하다. A. \_\_\_\_\_
- 15. 무엇이든 1 등이 되는 것이 중요하다. A. \_\_\_\_\_
- 16. 적어도 다른 사람과 비슷할 정도로 나는 가치 있는 사람이다. A. \_\_\_\_\_
- 17. 나는 많은 좋은 것(점)을 가지고 있다. A. \_\_\_\_\_
- 18. 자신은 낙오자라고 생각한다. A. \_\_\_\_\_
- 19. 자신은 도움이 되지 않고 무능하다고 생각한다.  
 A. \_\_\_\_\_
- 20. 자신에 대해 자신감이 없다. A. \_\_\_\_\_
- 21. 자신에 대해 긍정적이다.  
 A. \_\_\_\_\_
- 22. 자기 자신에 대해 만족하고 있다. A. \_\_\_\_\_
- 23. 더욱 자기 자신을 존경 할 수 있게 되었으면 좋겠다. A. \_\_\_\_\_
- 24. 다른 사람과 비슷하게 해낼 수 있다. A. \_\_\_\_\_
- 25. 자신을 게으른 사람이라고 생각 할 때가 있다. A. \_\_\_\_\_

## 6 引用文献

- 6.1 内田知宏，2010，Rosenberg 自尊感情尺度の信頼性および妥当性の検討，東北大学大学院教育学研究科研究年報，第58集第2号，262ページ